

公開シンポジウム 社会的包摂ビジョン：孤独・孤立を越える

開催趣旨：

2022年4月に「孤独・孤立と『つながり』の再生」と題するシンポジウムを開催し、多くの方々にご参加いただきました。今回は、昨年シンポジウム以降の孤独・孤立政策の動向と、市民セクターおよび自治体の取り組みに関する報告をふまえ、個人の選択や自由、権利、既存の制度・社会・文化的枠組みの視点から議論を深め、現代における社会的包摂のビジョンを描きます。

日時:2023年8月5日(土) 13:00~16:00

主催: 日本学術会議 社会学委員会 経済学委員会 合同・包摂的社会政策に関する多角的検討分科会

後援: 社会政策学会 日本社会福祉学会 福祉社会学会 日本社会福祉系学会連合 日本居住福祉学会 日本労働社会学会 女性労働問題研究会 労務理論学会 日本地域福祉学会 ジェンダー法学会 社会政策関連学会協議会

お問い合わせ: 須田木綿子 yukosuda(a)toyo.jp... (a)を@に書き換えてお送りください。

参加申込

無料&どなたでもご参加いただけます。定員800名。下記URLからお申込みください(7月31日締切)。当日までにURLをお送りします。お申込みいただいた方には、後日、期間限定で録画も配信します。

<https://forms.gle/58RCGgwpVNzdjyi26>

プログラム:

13:00~13:05 挨拶と趣旨説明 (和気純子:日本学術会議会員・東京都立大学教授)

総合司会:岩崎晋也(日本学術会議連携会員・法政大学教授)

第1部:アクターと連携

13:05~13:25 国レベルの取り組み:孤独・孤立対策の有識者会議から
(宮本太郎:日本学術会議連携会員・中央大学教授)

13:25~13:45 ボランタリーセクターの取り組み:「市民セクターが社会的孤立に取り組むための8つの『提案』」(早瀬昇:大阪ボランティア協会理事長)

13:45~14:05 自治体の取り組み:東京都武蔵野市から (松下玲子武蔵野市長)

14:05~14:15 内容確認のための質疑

第2部:包摂へのビジョン

14:25~14:45 包摂される権利:犯罪をしたものの視点から
(丸谷浩介:日本学術会議連携会員・九州大学教授)

14:45~15:05 包摂されずにつながる:就職氷河期世代の経験から
(木本喜美子:日本学術会議連携会員・一橋大学名誉教授)

15:05~15:25 「昭和」の仕組みを超えて:社会的包摂の再構築
(大沢真理:日本学術会議連携会員・東京大学名誉教授)

15:25~16:00 フロアからの質疑と登壇者を交えての議論

16:00 閉会挨拶 (須田木綿子:日本学術会議連携会員・東洋大学教授)